

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: R6年 3月 1日

事業所名: NPO法人J-pal デイPOP

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		広く過ごしやすい環境にしている	定期的な見直しを行い、過ごしやすい環境にしていく
	2	職員の配置数は適切である	○	○	出席人数に対応できるような人員配置や他部署からヘルプを頼んでいる。	運転スタッフが足りていない。また、スタッフの休みの関係で安定した配置が難しい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○	○	本人が理解しやすい環境設定を行い対応している	定期的な見直しを行い、安全が保てられる環境を継続していく。車いす利用者も受け入れ出来る様、エレベーターの稼働も視野に入れる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		日々室内消毒等を行い、清潔で安全な環境にしている	定期的に生活空間を見直し、子どもたちが心地よく過ごせるように環境整備を行っていく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員全員が参画し取り組んでいる	日々のミーティングの中で、振り返りを行い、よりよい支援に繋げられるようにする。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートやヒアリング等を基に、業務改善に努めている	継続して、様々な意見やニーズを把握し、改善に取り組む
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		当ホームページにて公表している	公表結果に基づき、見直しや改善を行っていく
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者による外部評価を行っていない	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に研修を実施している	継続して研修を行い、職員のスキルアップを図る。また、個人的に休みをとり、研修を受けミーティングで話している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		面談の様子・課題点など、様々な視点から考慮し、計画を立てている	ニーズや課題等を把握・分析を行い、支援計画に反映していく
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		日々の活動を通し、アセスメントに反映している	活動など状況把握に努め、反映していく
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインに基づいた、支援内容を設定している	様々な観点から支援内容を見直し、今後の支援に反映していく
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		本人や保護者の意向に沿った支援を提供している	ニーズや課題等を把握・分析を行い、支援計画に反映していく
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員全員にて様々な活動を組み立てている	1人の職員に負担をかけず、全員が月1~2回程プログラムの担当をしていく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		定期的に子どもたちとプログラムの内容を話し合っている。	プログラムがマンネリ化しないよう子どもの意見も取り入れつつプログラムを立てている。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		状況に応じて、組み合わせた計画を作成している	継続して様々な視点や状況を通し、サービス計画を作成する	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		日々のミーティングにて確認し、職員全体にて共有できるよう行っている	継続して、業務内容の確認や共有、連絡等を行っていく
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		職員により就業時間の差がある為、翌日のミーティングにて行っている。	全員が周知できるよう、翌日のミーティングや振り返りノートで情報を共有していく。兼務しているスタッフがいてるため、後日伝えるようにしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日誌での記録と共に、支援の検証を行っている	記録の不備が無いよう、日々確認していく
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的なモニタリングにて、計画の見直しを行っている	定期的な計画の見直しを行い、計画や支援に繋げていく
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		状況に合わせ、適切なスタッフが参画している	職員が把握していけるよう、様々な形で参画していく
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		該当する利用者は現在いない。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	服薬が必要なお子さんには親御さんから許可をいただき対応している。	該当する利用者は現在いない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	服薬が必要なお子さんには親御さんから許可をいただき対応している。	該当する利用者は現在いない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		定期的に情報共有を行っている	継続して情報共有に努め、定期的に行っていく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		対象となる児童が現在はいない。今後、新規利用者であれば対応を図っていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	今年度は餅つきを開催することで近隣との子どもと多少だけ交流できた。	昔と比べると、難しくなってきた。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	子ども部会発足の為、平野区で放課後等連絡会を定期的に行っている。	現在、平野区には子ども部会がない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や連絡帳、電話や面談等にて対応している	日々の状況や変化、課題や相談事など、密に連絡を行い保護者との共通理解を深めていく
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		状況に応じ、支援を行っている	しっかりと支援ができるように、スタッフの質の向上を図る	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時や必要に応じ対応している	説明不足等が無いよう、丁寧に対応していく	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		提示及び説明等を行い、同意を得ている	対応に不備が無いよう、適切に対応していく
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		随時対応できるような体制を整え、対応している	相談がしやすい環境設定を、さらに確立させていく
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	法人内でのフリートークに参加している方も数名いる。	現状、必要とする利用者がいない為、保護者会は開催していない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		随時対応できるよう、迅速に対応している	対応に不備が無いよう、適切に対応していく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページ等にて、情報を発信している	不備や発信漏れ等が無いよう、対応していく
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		十分に留意し、管理を行っている	継続して、個人情報の取り扱いに留意していく
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		状況に応じ、適切に配慮している	継続して、配慮した対応を行う
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		緊急時・感染症等マニュアルにて周知している	不備や発信漏れ等が無いよう、対応していく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に訓練を行っている	訓練を通し、非常時に対応できるよう見直しを図る
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時や定期的に確認を行っている	継続して定期的な確認を行っていく
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	食物アレルギーの子が現在いない。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		都度、共有及び再発防止に取り組んでいる	継続して、情報の共有及び再発防止に努めていく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に研修を行っている。また、室内に監視カメラを設置している。	定期的に研修を開催し、適切に対応していく
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		対象者は居ないが、必要な場合は、十分な説明の上、対応していく	必要な場合は十分な説明と計画へ反映し、対応していく

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。